



現場からこんにちは！！



じっくりと楽しんで戴けるでしょう。

門扉のスリットと延べ石のスリットが光を通し、明るい門周りに仕上がっています。スリットを設けることで風通しも良くデザイン的にも軽やかな雰囲気を出す事が出来ます。

様々な石材を用いた重厚感溢れる外溝を目指しました。年月を積み重ねることで石材の最大の利点である重厚な味わいを



アプローチを振り返ると、右側には腐らないポリエステル製の竹垣を設置。サツキの寄せ植えとヤマボウシの木がアプローチの脇を飾ります。

ジャワ島産の鉄平石を張り込んだ踊り場から門を開けるとその先には白御影石のアプローチが続きます。

階段は転倒の危険を少しでも減らすために幅が広く安心感のある階段石を1本丸ごと使っています。



和室の前には坪庭を制作。

オーソドックスなスタイルでありながら新しい舗装材を使用し、メンテナンス性を向上させるなど細かいところにも手ぬかりはありません。





坪庭の見せ場はやはり蹲（つくばい）の配石。職人の腕の見せどころであると同時に最もセンスが試される部分です。
ちゃんと水も出ますよ！

特大のガレージ（4台収容）との段差にはサザンカの生け垣をつくり転落防止のフェンスとしています。



門前の植栽は幅も広がらず管理に手のかからない「スカイペンシル」を植栽。この木は狭い場所に植えるにはうってつけの木なんです。



玄関脇にはシャラの木を植栽、真っ白な白川砂利と庭石の色のコントラストは10年20年経っても変わらぬ美しさを保っていることでしょう。



木曽石の野面積み土留めは技術力が無ければ出来ないハイレベルな石積み（手前味噌でござんなさい）。手前のクチナシの木



撮影現場 小牧市 K様邸

現場の撮影に快くご協力戴き有難うございました、これからもよろしくお願い致します。